



杉原寛信使徒座管理者認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 下町豊重
カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部70円

3月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【福音宣教】中国のカトリック信徒
【日本の教会】虐待被害者とその家族

司教空位での福岡教区全司祭集会

小教区の再編成と幼稚園・保育園の方向付けについて

小雨の降る寒い日に、福岡教区内で働く司祭達がカテドラル大名町教会に集まった。司教座空位での全司祭の集まりは久しぶり。まずは、互いの安否と体調を確かめ合った後、「み言葉の祭儀」をもって集会が始まった。



司祭集会に集った司祭たち

程の準備とすることができるようになるまで、司祭集会が設けられた。今回提議されたのは小教区の方向付けと幼稚園・保育園の方向付けであった。

初めに、「小教区の方向付け」と題して壇上に立った牧山勝美神父（浄水通・茶山教会主任司祭）は、福岡教区内の教会の現状として、信者の減少と共に感じられる信仰の価値観の気薄さによる教会離れ、切迫している小教区の再編成などを話し、司祭団の認識を促した。

その後各グループで分かち合いが行われた。ある司祭は、「教会が社会の動きに迎合している状況にあつては、教会

優先を呼びかけても困難さがある。教会の再編成についても、信徒の意見を尊重しつつ、慎重さをもって話し合うべき」と語っていた。

昼食を挟んで、後半の「幼稚園の方向付け」として中村彰神父（西新教会主任司祭・西新カトリック幼稚園園長）は、自らの実務経験から園長職の喜怒哀楽を話し、幼稚園・保育園に関わっていない司祭



グループでの分かち合い

また、幼稚園・保育園の方向付けとして、「司祭であれば、宣教の面からも隣接する幼稚園・保育園に関わることは大きなこと。園長職に就かなくても、チャプレンとして司祭の使命を果たしているのではないか」などの話も出ていた。

新司教が誕生したら、話し合ったことを受け止めてもらい、今後の福岡教区をより良い方向へ舵を切っていたいただきたいとの司祭団の目論見であるが、果たしてどうなっていくのか見当は付かない。

時の話題

呼びかけに委ねて

まず、福岡教区の皆様のお祈りとお支えに感謝申し上げます。皆様のお祈りとお支えのおかげで昨年12月、無事に助祭叙階の恵みを受けることができました。

た。なぜかというところ、「祭壇でミサを捧げる神父様が格好良く見えたから」でした。今考えても不思議だなと思うのが、その時の夢が今まで変わらなかつたということです。

なら、召命はイエス様が私をお呼びになられることだからです。この黙想会で私が悟ったことは私を呼んでくださった方に全てを任せることでした。こんな私ですが、主がお使いなられるなら、一杯頑張りたいと思います。助祭になって2ヶ月が過ぎましたが、日本語の実力もまだいまいちだし、色々な面で物足りない者です。不躰なお願いでございますが、主がお使いになられる道具として相応しく成長することができるよう、引き続き皆様のお祈りをお願いいたします。

祝司祭叙階60・50周年

今年、司祭叙階60周年、50周年を迎える司祭たちに、言葉を寄せていただきました。（25周年該当者はなし）

叙階60周年

園田 善昭 神父

（コンベンツァル聖フランシスコ会）



叙階50周年

岡崎 才蔵 神父

（神言会）



ローマのピアッツァ・ナヴォーナ、サクロ・クオレ聖堂で1960年7月10日叙階。今は、玉名郡和水町の真命山で、主に日本の宗教、つまり神道と日本仏教に関わる業務につき、祈りながら生活し、思索を重ねる日々が続いています。

2018年4月から福岡教区に移動して来ました岡崎才蔵（神言会会員）と申します。

現在、福岡教区内で奉仕をしている司祭は教区司祭が36人（引退司祭含む）、修道会・宣教会司祭が27人。叙階の秘跡により司祭の奉仕職に召された司祭らが、キリストと教会共同体との交わりの中で歩むことができるように共に祈りましょう。



「私はお腹の子を産みます」とはつきりと言っている母親。実は、検診で「お腹のお子様には心臓に欠陥が見られます。産んだら親子共に苦勞するでしょう。私はお勧めし兼ねます」と医者から言われた母親。でも、「授かった子はどの子も宝物。生きていくのに、親も子も苦勞するのは当たり前。だから産み育てなさい」と先祖から言い伝えられてきているので、私のお腹の子が虚弱体質であろうと、病氣持ちであろうと、産んで育てます。お兄ちゃんになる子も楽しみにしていますから」と言い切る母親。「命は神様から与えられた尊いもの。頑張ってください。お祈りしています」としか言えなかつたが、実にその母親の氣丈で、立派な氣持ちに兜を脱いだ。後の苦勞よりも、今頑張っている子の命の尊さを優位に挙げたその人の顔は、世の救いのために受難を甘んじた主イエスや、いろいろなことがあると分かっているが、すべてを心に留めていた聖母マリアのそれに似て本当に美しく輝いて見えた。中には、早く墮胎したり、中絶したりして我が身を守り、生活を維持している人がある。それは弱者の命の輕視につながり、後に罪惡感にさいなまれることになる。宗教的にも命を与え、支える神への冒瀆となり、大罪である。人には、知恵と知識と感情と意志と良心が与えられている。神に似せて創られた人は、神に似た考えや行動をするのが相応しく正しい▼主イエスは惡に勝利し、復活された。そして私達に平安と生きていく希望と勇氣を与え、愛によって支えてくださる。（S）

オリンピックとキリスト教的生活 ②

レナト・フィリッピニ神父

(教区養成教化委員会委員長、聖ザベリオ宣教会)

前回(2020年2月号)に引き続き、「オリンピックとキリスト教的な生活」と題してお送りします。前回はヘブライ人への手紙12章1～2節の前半に記されている「おびただしい証人の群れに囲まれている」という部分に関して振り返りました。今回はそれ以降の部分を黙想します。

次の箇所は、「すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて」(ヘブライ12章1節)というところです。スポーツ選手たちは自己ベストを更新するため、または憧れのオリンピックに出るために毎日激しい練習をして、体と精神を鍛えているのです。私たちも、日々向き合っている様々な苦しい状況、複雑な人間関係の中で、キリスト者として、愛とゆるしを実現する機会をつかんだり、あるいは逃したり、怠ったりしていることでしょうか。キリスト教的な生活は、たとえそれが聖堂内でも当たり前のように出来る生き方ではありませんから、努力が必要なのです。

もう一つの箇所は「自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか」(ヘブライ12章1節)です。信仰生活は夏の高校野球のようなものです。涼しくて心地よい日ばかりではありません。猛暑に耐えながら走る日もあれば、台風のためにやむをえず休む日もあります。そして、誰かと競うことなく、自分に定められた人生の道を時間や点数に関係なく走り抜くことです。何度も罪を犯したとしても、たとえ同じ罪を繰り返したとしても、大切なのは転んだあと起き上がることです。

次は「信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら」(ヘブライ12章2節)というところです。信仰の源は、掟でも、戒めでもなく、キリストです。イエス様との出会いは秘跡や聖書を読むこと、祈る機会、時間を持つこと、つまり一対一の出会いによって、その関係が深まっていくのです。イエス様が私たちに望まれているのは、完璧な人になることではなく、忠実であることです。わたしたちはキリスト信者として、人生という試合に先発で出ています。それはオリンピックとは違って、夏だけでなく四季を通しての人生という試合です。その目的は勝利ではなく、最後まで走り抜くことです。時間の制限はありません。大切なことは、主人公として自分の人生を生きること。そして、最も大きな挑戦となるのは、優勝するとか、一位になるとか、メダルをとるとか、そういうことではなく、相手に仕え、自分が置かれているところを少しでも「神の国」へと実現させることです。どうぞみなさん、これから人生の試合を走り続けましょう。(完)



講師の阿部仲麻呂神父

「教皇は、アシジの聖フランシスコのように生きて、その生き方を模して」の3段階の大切さ、特に信仰者が①と②を深めることの重要性を、優しい語り口で話した。



ごみに関するクイズに指で答える参加者たち

福岡地区カトリック女性の会 講演と学びの会 環境問題について振り返る

福岡地区カトリック女性の会(会長 川原圭子氏、笹丘教会、担当司祭 S・オチヨア師(イエズス会)主催)の「講演と学びの会」が、2月15日(土)カテドラル大名町教会で開催された。午前の部、午後の部に延べ240人が参加し、環境問題についての学びと黙想を深めた。

午前の部 講演会

その後、師は教皇フランシスコの人生とビジョンを紹介するドキュメンタリー映画[Pope Francis: A Man of His Word]を用い、アシジの聖フランシスコに倣うフランシスコ教皇の生きざまと中心に据えている福音の精神を紹介した。阿部師は、①他者のもとに向きその痛み(痛み)に共感すること、②その相手の幸せを祈る(祝福すること)、③行動すること、の3段階の大切さ、特に信仰者が①と②を深めることの重要性を、優しい語り口で話した。

午後の部 福岡市出前講座

午後(13時半～15時)は会場を1階講堂に移し、福岡市環境局「家庭ごみ減量推進課」相談員の田中和美氏による出前講座「食品ロスってなに?その食品本分に捨てるの?」があった。

講師は多数の事例を画像とともに説明し、ごみに関するクイズも出題された。参加者は講師の明るく、わかりやすい話しぶりに魅了されながら

いるうちに、きっとキリストに出会ったに違いない。教皇名をフランシスコにしたことに納得した」と感想を述べた。

計報

夫津木昇神父

(聖パウロ修道会)



2月16日、福岡市内の病院で心原性ショックのため帰天。享年76。1943年長崎県生まれ。55年に聖パウロ修道会に入会、71年にローマで司祭叙階。福岡修道院長、修道会内の養成責任者、使徒職責任者を務め、93～97年および99～07年には日本管区管

福岡市のごみの現状の理解を深めた。それぞれの身の回り、家庭の台所からの気づきをもとに「私もやる!」「この地球を守るために!」。会場の雰囲気はこれからの参加者の意気込みを感じさせるものであった。会長の川原氏は、「講演会に150人、学びの会に90人

という参加者数は環境問題への関心の深さを物語っていたと感じます。女性の会はこのからも身近なテーマに取り組みながら、「つながる喜びを伝えよう」を実践していきたい。皆様のご協力に、そして常に共にいてくださる主に感謝します」と語る。

(報告)福岡地区カトリック女性の会

四旬節

洗礼の喜びを取り戻す時

櫻井尚明神父(手取教会主任)

先日、二人の赤ちゃんの洗礼式を行いました。それぞれの両親の希望で浸水(体全体を洗礼水に浸ける)による洗礼式となりました。

またキリストの光を表すローソクの授与では、彼らの友人の司祭が自ら描いた美しい絵が施された太いローソクを渡しました。それよりもすばらしいかったのは、ご両親の多くの仲間たちがこの赤ちゃんたちの洗礼を祝うために遠路はるばる駆けつけてきてくれたこと、そしてそのおかげで、内陣にまで席を増設するほど聖堂いっぱいの人の中

で、そして喜びに満ちた雰囲気の中で、この洗礼式を行えたことでした。本来洗礼とは、皆が喜びにあふれる出来事なのだとあらためて気づかされました。きつとそこに集まっていた多くの人の心も喜びに満ちたさ

れ、それぞれの信仰の歩みも力づけられたことでしょう。主日のミサのなかで、

たが、この喜びに満ちた雰囲気の中で、だれも「長くなりそうだな」とはつぶや

かなかつたはずですが(そう希望します)。ただ主任司

祭だけが「長くないよ

うに」と余計な気を遣っていただけです。

四旬節が始まりました。

四旬節というと、復活祭を

ふさわしく準備する期間とい

うことで、悔い改めや償

いのわざが強調されがちで

す。けれども四旬節はまず

復活徹夜祭で洗礼を受ける

人の準備の期間です。そし

てすでに洗礼を受けた人た

ちは、この洗礼志願者たち

を受入れ、洗礼へ向かう歩

みに寄り添うことが求めら

れます。四旬節は洗礼志願

者たちだけが準備にいきな

らなく、教会(信者一人

ひとり)側の準備を整え、

彼らのために祈るときでも

あるのです。信者たちも

もう一度洗礼の喜びを思い

起こし、その恵みをさらに

深めていくときなのです。

つまり、洗礼のとき実現し

たキリストとの一致の恵み

を私たちの罪深さによって

弱めているので、それをも

う一度力強いものにし、さ

らに深めていくのです。

四旬節は、信者たちに

とっては洗礼の喜びを取り

戻す期間なのです。

という参加者数は環境問題への関心の深さを物語っていたと感じます。女性の会はこのからも身近なテーマに取り組みながら、「つながる喜びを伝えよう」を実践していきたい。皆様のご協力に、そして常に共にいてくださる主に感謝します」と語る。



ジヨルジョ・フセララ神父

(ミラノ外国宣教会)

1月25日、米国ニューヨークで帰天。享年59。1960年イタリア、ミラノ生まれ。86年にミラノ外国宣教会司祭として叙階。1991年

2009年、2016年、17年に日本にて司牧。福岡教区では98年3月から2002年3月まで佐賀教会主任を務めた。99年の佐賀教会創立100周年の記念誌に「これから更に百年の間私たちが信仰の旅路を歩む時、神様への取次と祝福を願うとともに、『私は世の終わりにあなたと共にいる』ということを私たちに確信させるキリストの約束を忘れないようにしたいものです。」と記している。

【講演会・講習会・黙想会のお知らせ】 講師・指導司祭：来住英俊神父(御受難修道会)

講演会(入場無料、申込不要) 3月14日(土)14～16時「キリスト教はなぜイエスの死を重視するのか」

◆黙想会と講習会(参加費 10,000円、定員 15人、要申込〆切開催 1週間前)

3月21日(土)～22日(日) 講習会「ゆるしの秘跡」

3月28日(土)～29日(日) 黙想会「イエスの受難」

4月4日(土)～5日(日) 黙想会「聖週間を祝う」

4月11日(土)～12日(日) 黙想会「復活祭を祝う」

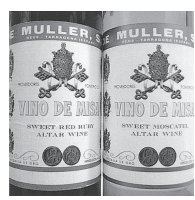
カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)

Fax 0940-32-3385 Eメール f-mokuso@fmokusou.com



ミサ用ワイン



VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号

電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

年間目標

信じる喜びから
伝える喜びへ

美野島司牧センター建替資金の協力を

献金
総額 **114,685,048-** (1月31日) 現在美野島司牧センター建設募金送付先
郵便振替：01760-6-20729
加入者名：カトリック福岡教区
※通信欄に「美野島司牧センター建設募金」とお書きください 建設費総額 164,000,000-講演会 これからどうする
- 教皇フランシスコの呼びかけ -日 時：3月1日(日) 14時～16時
場 所：カトリック大名町教会 1階講堂
講 師：山元 眞 神父(小郡・鳥栖教会主任)
主 催：福岡教区信徒使徒職協議会

福島家族支援「博多にきんしゃ〜い」講演会

演題：21世紀に生き残るために
日 時：3月7日(土) 10時～12時
場 所：カトリック大名町教会 1階講堂
講 師：川口 敏 神父(大分教区)
主 催：福岡教区災害被災者支援室内
福島家族支援実行委員会
問合せ：☎080・8392・7394 日良

東日本大震災被災地支援「音楽と祈りの集い」

日 時：3月22日(日) 14時から(約1時間半)
場 所：カトリック小倉教会 聖堂
内 容：黙祷、オルガン・歌の演奏
主 催：音楽と祈りの集い実行委員会
問合せ：☎093・921・0093 小倉教会
※入場料無料、被災地支援の募金あり

教区信徒養成部主催 聖書講座

テーマ：ヨハネ福音書を読む
日 時：3月22日(日) 14時～16時
場 所：カトリック大名町教会 1階講堂
講 師：森山信三神父(福岡コレジオ院長)
参加費：100円 ※旧新約聖書を持参のこと
問合せ：☎080・5246・1816 畠山

教皇訪日アンケート 協力をお願い

日本カトリック司教団はカトリック中央協議会のホームページ(HP)を通じ、教皇訪日を受けてのアンケート協力を呼び掛けています。
アンケートは中央協議会のHP (https://www.cbcj.catholic.jp/) からアクセスできます。
また、「ローマ教皇来日記念オフィシャルグッズ」も引き続き販売されています。

3・11 仙台教区サポートセンターから

2011年3月11日に発生した東日本大震災から、丸9年を迎えるにあたり、仙台教区サポートセンターから、皆さまの支援・協力への感謝と引き続きの支援のお願いが届いております。詳細は福岡教区ホームページの「NEWS」を参照ください。
なお、今年も3月11日(水) 14時から仙台教区のカテドラルでは「犠牲者追悼・復興祈願ミサ」が捧げられます。それぞれの場で心を合わせて祈りましょう。福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

3月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 3・4月

3月 7日(土) ロザリオの会／若松土曜学校
7日(土)～8日(日) 講習会「詩編の祈り」(募集中)
12日(木) 聖公会「麦の会」
14日(土) ザビエル聖堂講演会(2面広告参照)
21日(土)～22日(日) 講習会「ゆるしの秘跡」(募集中・2面参照)
22日(日) 大名町教会子ども会日帰り黙想会
28日(土)～29日(日) 黙想会「イエスの受難」(募集中・2面参照)
4月 4日(土)～5日(日) 黙想会「聖週間を祝う」(募集中・2面参照)
4日(土) ロザリオの会
11日(土)～12日(日) 黙想会「復活祭を祝う」(募集中・2面参照)※お電話またはメールでお問合せください。
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：「祈り」最高の神秘体験として
ご聖体の秘跡を戴いてキリストと出会う日 時：3月12日(木) 10時～15時
内 容：「キリストとともに死ぬ」
指 導 者：S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
次 回：4月9日(木)「超越の神秘的体験」
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日 時：3月7日(土)・21日(土) 10時～11時45分
4月4日(土)・18日(土) 10時～11時45分
場 所：カトリック大名町教会小聖堂■聖書通読会
(日時) 3月12日(木) 14時～
16時(毎月第2木曜開催)(場
所) 美野島司牧センター(指
導) マキシム神父(カプチン・
フランシスコ修道会)(問合せ
先) ☎092・431・1
419 美野島司牧センター■震災のための祈りのリレー
(日時) 3月11日(水) ミサ7
時から夕の祈り(テゼの祈
り) 19時から(場所) 西新教
会(問合せ先) ☎070・2
820・9613 Br.阿部(パ
ウロ会)■九州・福岡合同「設立70周年
お祝いとアチエス」(日時) 3
月8日(日) 13時～16時(場所)
高宮教会(問合せ先) ☎09
0・9654・9969 日吉
江田■聖ドミニコ信徒会集会
(日時) 3月7・21日(土) 15
時～17時(場所) 箱崎教会(内
容) 福音の分かち合い(指導
者) アントニオ李神父(ドミニコ
会)(問合せ先) ☎092・
651・3867 箱崎教会■ウルスラ祈りの集い(テゼ
の祈り)(日時) 3月1日(日)
16時から(場所) 聖心のウル
スラ宣教女修道会福岡修道院
(問合せ先) ☎092・512・
0033 Sr. 蔵

◆ 福 岡

■福岡召命を共に祈る会
(日時) 3月17日(火) 11時か
ら(場所) 聖クララ寮(内容)
四旬節に捧げるグレゴリオ聖
歌ミサとベネディクション
(問合せ先) ☎096・380・
5686 堺■グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時) 3月17日(火) 11時か
ら(場所) 聖クララ寮(内容)
四旬節に捧げるグレゴリオ聖
歌ミサとベネディクション
(問合せ先) ☎096・380・
5686 堺■カルメル在世会集会
(日時) 3月16日(月) 10時半
～16時(場所) 福岡女子カ
ルメル修道院・テレサの家(内
容) ミサ・講話(カルメルの
霊性)(指導) 大瀬高司神父
(カルメル会)(問合せ先) ☎
092・861・4802 海■美野島司牧センター
降りてきてくださる神様と
ともに働きましょう。◆ホーム
レスの方に手作りのお昼ごはん
毎週火曜日10時◆ホームレ
ス支援炊出し・夜回り(ス
プの会協働) 3月第2週まで
大名町教会集合、毎週金曜日・
調理14時/夜回り20時◆路上
からアパートに入居した方を
訪問第3土曜日 13時(問
合せ先) ☎092・431・1
419 M・コース神父■イスターコンサート
ザビエル聖堂2020(日時)
4月12日(日) 13時～14時(場
所) ザビエル聖堂(福岡黙想
の家)(内容) Knulpによる
オカリナ演奏(問合せ先) ☎■福岡チエナクルム(司祭の
マリア運動)(日時) 3月13
日(金) 10時ミサ後(場所) 高
宮教会(指導) パウロ神父(カ
プチン・フランシスコ修道会)
(問合せ先) ☎090・74
68・3631 西田■ミサ聖歌研修会
(日時) 5月10日(日) 10時～13
時(場所) ザビエル聖堂(福岡黙
想の家)(指導) 深堀純氏(内容)
ミサ聖歌、聖母月、復活節の
歌等(問合せ先) ☎0940・
32・3222 福岡黙想の家
※主日ミサから開始、自由献
金、「典礼聖歌」持参■北九州召命を共に祈る会
(日時) 3月12日(木) 14時か
ら(場所) 小倉教会(内容) ミ
サと茶話会(問合せ先) ☎0
949・24・9905 藤井■小倉祈りの集い
(日時) 3月27日(金) 13時半～
15時(場所) 小倉教会信徒会館
2階(内容)「みことばを味わ
う」賛美と感謝の祈り(問
合せ先) ☎090・3985・5
209 松田■熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 3月19日(木) 10時か
ら(場所) 手取教会(内容) ミ
サと話し合い(問合せ先) ☎
096・368・2825 健
軍教会・浦川神父■熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 3月19日(木) 10時か
ら(場所) 手取教会(内容) ミ
サと話し合い(問合せ先) ☎
096・368・2825 健
軍教会・浦川神父

◆ 熊 本

編集後記

正しく畏れ、信じた。(C)

4月号の発行は復活
祭に合わせ、4月
12日となります。福岡カルメル修道院より
ご案内。ご復活のローソク
は昨年に引き続き、承ってお
ります。問合せ・注文は☎
092・807・7361◆江夏國彦神父(戸畑・若松
教会主任)が1月27日付でフ
ランシスコ会より福岡教区に
移籍。

司祭人事

◆江夏國彦神父(戸畑・若松
教会主任)が1月27日付でフ
ランシスコ会より福岡教区に
移籍。

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は

メモリードール

薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店 福岡メモリードール(検索)

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院内科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院一緒に働きませんか?
＝募集＝
医師・看護師・医療技術職
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp痛みの相談室
いくま整骨院平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊吉古キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!

http://www.paulus.jp

パウルスショップ



メディアによる福音宣教のために...

サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930